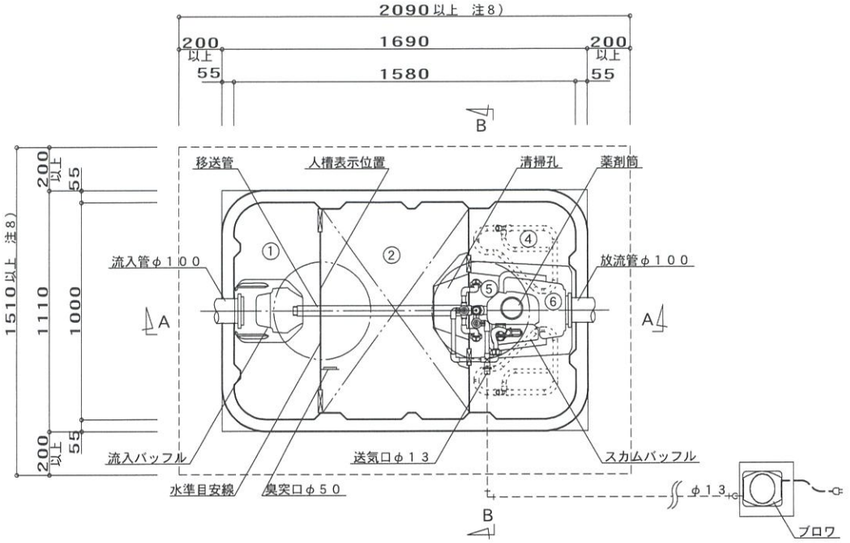
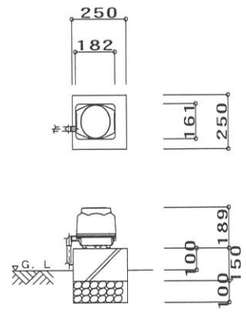


平面図　1／20



ブロワ　平・断面図　1／20

一般事項	
コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ２
鉄筋	ＳＤ２９５
定着及継手	４０ｄ
開口補強筋	Ｄ１３シングル
地業	砕石又はＲＣ　４０～０

仕様表

設計番号				
型式名称	ＣＢ－５型			※吊上目安重量：１１０ｋｇ
処理対象人員	５人			
汚水量	１．００ｍ３／ｄ			
流入水質	ＢＯＤ２００ｍｇ／Ｌ	ＣＯＤ１００ｍｇ／Ｌ	Ｔ－Ｎ　４５ｍｇ／Ｌ	ＳＳ　１６０ｍｇ／Ｌ
放流水質	ＢＯＤ　２０ｍｇ／Ｌ	ＣＯＤ　３０ｍｇ／Ｌ	Ｔ－Ｎ　２０ｍｇ／Ｌ	ＳＳ　１５ｍｇ／Ｌ

①	沈殿分離槽	有効容量	０．２９０　ｍ３
②	嫌気ろ床槽	有効容量	０．５４６　ｍ３
③	ピークカット部	有効容量	０．１９１　ｍ３
④	接触ろ床槽	有効容量	０．２３８　ｍ３
⑤	処理水槽	有効容量	０．１１９　ｍ３
⑥	消毒槽	有効容量	０．０１１　ｍ３
総容量		有効容量	１．３９５　ｍ３

機器装置仕様				
嫌気ろ床槽ろ材（網様円筒状）	ＰＰまたはＰＥ			
接触ろ床槽ろ材（網様ロール状）	ＰＰまたはＰＥ			
ブロワ	６０Ｌ／ｍｉｎ	φ１３	連続運転	１台
槽本体	ＦＲＰ			
パイプ類	ＰＶＣ、ＰＰまたはＰＥ			
マンホール	ＰＰまたはＦＲＰ			
消毒剤	固形塩素剤			

配管仕様

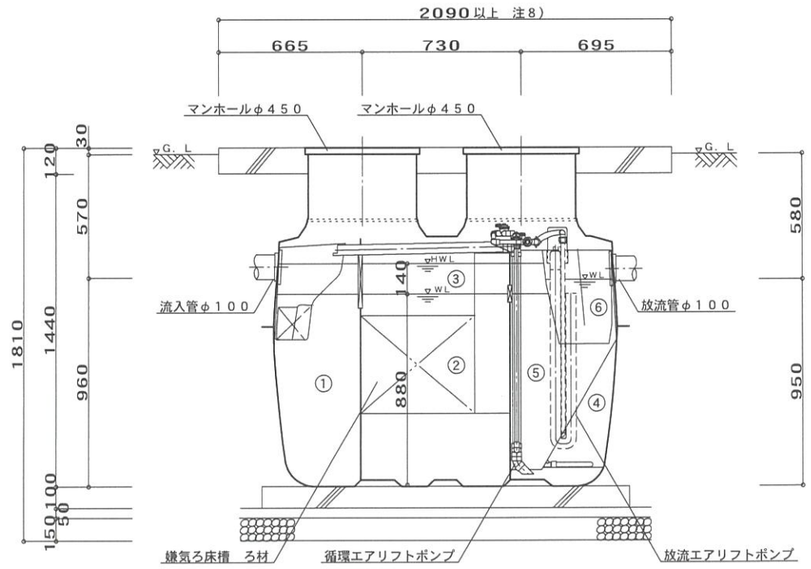
露出配管（ブロワ廻り）	ＶＰ
土中配管	φ４０以下～ＶＰ・φ５０以上～ＶＵ
槽内配管	メーカー仕様

注１）戸建て住宅の駐車場（車両総重量２ｔ以下）用に限る。
注２）浄化槽は駐車場の下に設置すること。
　　（車が通過する場所は車両重量の他、走行による衝撃荷重がかかるので避けること）
注３）車両等の重量に耐える地盤（長期許容地耐力が４０ｋＮ／ｍ２以上）に設置すること。
注４）最高地下水位１ｍ以下の場所に設置すること。
注５）積雪高さ１ｍ以下の場所に設置すること。
注６）浄化槽はマンホールが車両の中央になるように設置すること。
注７）スラブコンクリートが地盤沈下しないように良質土で水締めしながら埋め戻しを行うこと。
注８）スラブコンクリートの寸法は土肩に２００ｍｍ以上かかる大きさとし、掘削する大きさに合わせて変更すること。
注９）スラブコンクリートには必ず開口補強筋を入れること。
注１０）スラブコンクリートは駐車場の土間コンクリートと一体で打設すること。
注１１）スラブコンクリートの鉄筋と土間コンクリートの鉄筋は、必ずラップ（４０ｄ）すること。
注１２）機器電源は単相１００Ｖとする。
注１３）図中の”Ｇ．Ｌ”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注１４）浄化槽からブロワまでの距離は５ｍ以内とする。
注１５）流入管・放流管、同接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注１６）臭突管工事、同接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
　　臭突管接続する場合は嵩上げ必須となります。
注１７）ブロワ付近にコンセント×１を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注１８）岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は浄化槽工事範囲外とする。

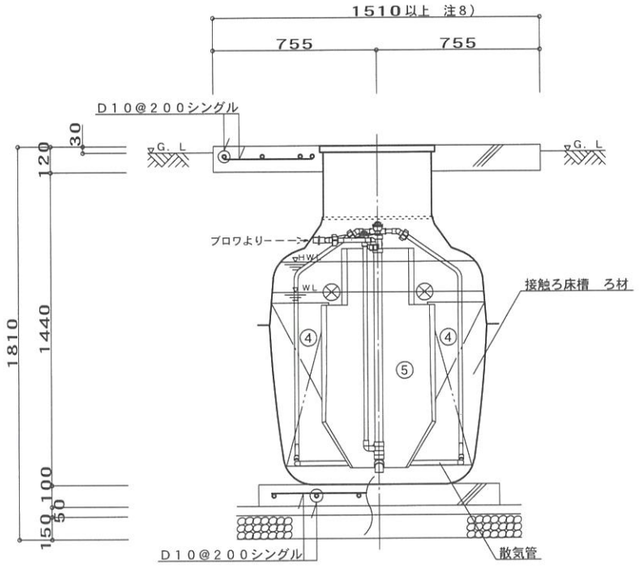
施工高さ範囲

ＭＨ	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易ロック	最小寸法	０Ｈ	Ｇ．Ｌ－２６０	Ｇ．Ｌ－２７０	１５００Ｈ
	最小寸法（嵩上付）	５０Ｈ	Ｇ．Ｌ－３２０	Ｇ．Ｌ－３３０	１５６０Ｈ
	最大寸法（この図面）	３００Ｈ	Ｇ．Ｌ－５７０	Ｇ．Ｌ－５８０	１８１０Ｈ
ボルトロック	最小寸法	１００Ｈ	Ｇ．Ｌ－３９０	Ｇ．Ｌ－４００	１６３０Ｈ
	最大寸法	３００Ｈ	Ｇ．Ｌ－５９０	Ｇ．Ｌ－６００	１８３０Ｈ

注）製品全高は、製品規格で＋１０、－２０ｍｍの公差があります。
　　流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±１０ｍｍの公差があります。



Ａ－Ａ断面図　1／20



Ｂ－Ｂ断面図　1／20

名称	ＣＢ－５　（戸建住宅駐車場・支柱レス）鹿児島仕様			
	標準図			
設計年月日	設計	検図	図番	縮尺
２０２６・０１・	荒木	戸苅	ＣＢ００５ＮＤＦ１００（３００Ｈ）	１／２０

FujiClean　フジクリーン株式会社